

ミサイル基地配備 こんな説明で決められるの？

- ◆現時点ではお答えできません。
- ◆市が受け入れを決定しないと具体的なことはお話しできません。
- ◆お答えを差し控えます。

配備によるリスクは大きい

これでは私たちの暮らしが壊される！



4月22日防衛省の住民説明会

4月22日と5月24日の2回、防衛省は住民説明会を行いました。しかし、市民が求める選定の経緯や地域の特定など配備計画の全容は明らかにされず、一方的に抑止力と大規模災害時の救援活動について説明。

1回目、事前に募集した質問141項目に対する回答はわずか15項目。各回とも会場からの質問は「一人1問、再質問なし」で議論は深まりません。回答が沖縄防衛局のホームページに掲載されたのは6月10日。それでも、まともに答えられていないものもあり、不十分です。

抑止力になるから、いいでしょ？

配備するミサイルは軍艦用と航空機用でミサイルを落とすことは困難！

万一、政府が想定する尖閣有事・戦争が起きれば、落とせないミサイルが大量に飛んで来て石垣の部隊は全部破壊されるので抑止力はありません。その時、石垣島は火の海となります。

災害の時、自衛隊がいたほうが安心じゃない？

大災害なら自衛隊も大被害を受けてしまう！

大災害時には島民の救援は難しく、結局は島外から来る自衛隊が主に救援に当たる事になっています。

去年、与那国を襲った80mを超える台風21号の後、建設中の自衛隊基地に隊員がいましたが、やはり彼らも大被害を受け、救援要請も遅れ、島民を救援出来たのは休暇を取った少数の隊員のみだったのです。

駐屯地にヘリの離発着！

駐屯地が開設された後は、状況により駐屯地に整備する予定のグラウンド等でヘリが離発着すること。

騒音や安全性、環境への影響など心配なことがたくさんあります。生活への影響はないのでしょうか？現時点では石垣島にオスプレイを配備する計画は無いようですが、陸自へのオスプレイ配備は始まっています。



輸送用ヘリ CH47A



こんな車両が何台も島のなかを走ります
配備予定の地对艦ミサイル

ミサイル基地は標的にならない？

戦争では相手の部隊を攻撃し合うのが世界の常識！

抑止力のない部隊を持って来る事で、逆にミサイルの標的となり、石垣島が火の海となる恐ろしい可能性を運んで来る事になるのです。

尖閣周辺で武力衝突が起きそうになるだけで、観光産業や関連産業は大打撃を受けてしまいます。

戦争が起きそうな所にわざわざ遊びに来たいと思いませんよね？

損害補償はありません！！

有事の際に攻撃を受けて死亡、負傷、家屋財産の焼失、経済への打撃等の損害を受けた時国は補償してくれません！！

攻撃を受けなくても、尖閣周辺で武力衝突にでもなれば観光や暮らしに大打撃。これも「泣き寝入り」です。

「尖閣があぶない」から石垣島に自衛隊配備？

政府は、尖閣諸島周辺の緊張が高まっているといいますが、小さな尖閣の漁場を奪うために大規模な戦争を起こそうとする国があるでしょうか。

石垣島に攻撃性の高いミサイルを置けば、軍事的緊張が高まるだけです。ちょっとした衝突から、有事にすめば石垣島のミサイルを潰そうと相手のミサイルが飛んできます。

万一、東シナ海で武力衝突が起きても非武装の島の方が安全です。非武装の島を攻撃すれば、国際的に非難を浴び、軍事的・経済的制裁を受けるだけです。5万人が住み、多くの観光客がいる、逃げ場のない島で戦争なんて、ごめんです。政府は、住民の安全を最優先に、外交交渉に本気で取り組むべきです。



尖閣諸島



石垣海上保安部浜崎船艇基地
新造巡視船10隻配備

もしもの時は島外避難？

防衛省は、「島民及び観光客の安全確保は優先すべきもの」、「被害防止に万全の注意を払う必要がある」、「何より敵の侵攻以前に島外避難等の措置を迅速・的確に実施することが重要」と答えています。

でも空港も、港湾も使えない可能性大！ そうならば逃げるところはありません

